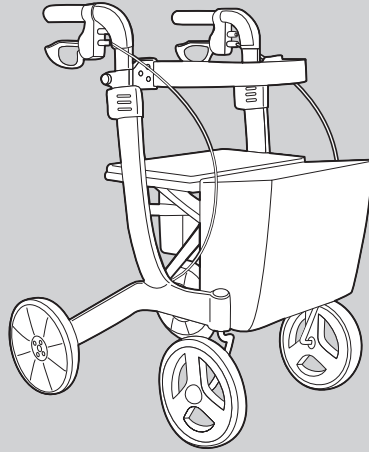


安^{あんじゅ}寿

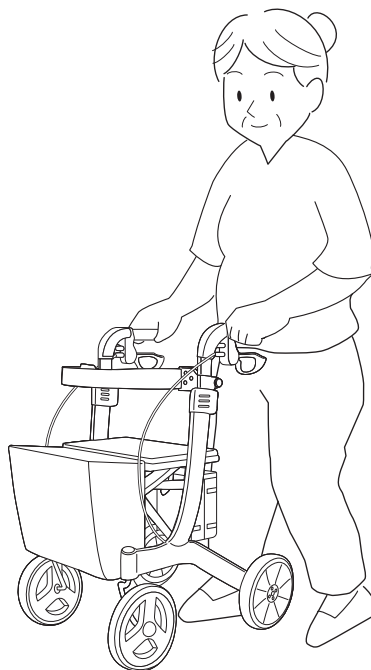
歩行車 リトルターン 電動アシスト付

取扱説明書



最大使用者体重：100kg

このたびは「歩行車リトルターン 電動アシスト付」をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は、主として歩行が困難な方の歩行を補助する歩行車です。自立歩行に不安がある場合は、同伴者の付き添いのもとで使用してください。ご使用の際には、専門家（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士など）に必ずご相談ください。正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書を必ずお読みください。



保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

取扱説明書を読んだ後は必ず保管してください。



もくじ



確認しましょう P.3～6

- ・梱包品の確認..... 3
- ・各部の名称..... 3
- ・操作パネルについて..... 4
- ・商品の寸法図と仕様..... 4～6



安全上のご注意 P.7～14



ご使用前に P.15～21

- ・本体を開きましょう..... 15
- ・バッグの取り付け、取り外しかた..... 16
- ・杖ホルダーを固定しましょう..... 17
- ・杖固定ベルトを固定しましょう..... 17
- ・ハンドル高さを調節しましょう..... 18
- ・姿勢保持ベルトの高さ調節をしましょう..... 19
- ・電池を充電しましょう..... 20～21



使いましょう P.22～30

- ・操作方法
 - ブレーキのかけかた..... 22
 - 駐車ロックのかけかた..... 22
 - 杖の固定のしかた..... 22
 - 折りたたみかた..... 22
 - 置きかた..... 23
 - 電動アシストの起動 / 終了のしかた..... 23
 - アシスト力の切り替えかた..... 24
 - 音声案内の音量の切り替えかた..... 24～25
 - 電動アシストの使いかた..... 25～26
- ・音声案内について..... 27
- ・ご使用になる前に確認しましょう(点検) ... 28
 - 押して歩くとき..... 29
 - 腰かけるとき..... 29
- ・ご使用いただける環境について..... 30



お手入れしましょう P.31～34

- ・お手入れのしかた..... 31～34



困ったときには P.35～39

- ・よくあるご質問..... 35
- ・音声による異常のお知らせ..... 35
- ・故障かな?と思ったら..... 36～37
- ・保証とアフターサービス..... 37～39

確認しましょう

安全上のご注意

ご使用前に

使いましょう

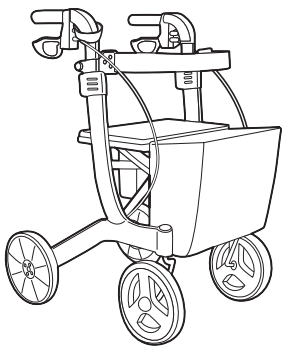
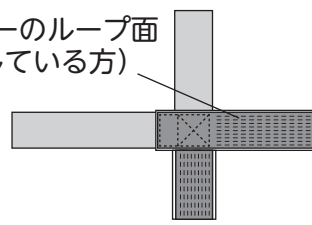
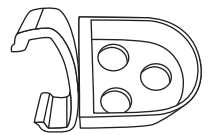
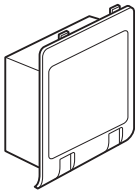
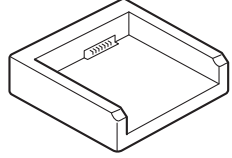
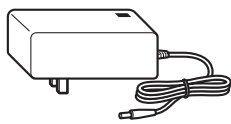
お手入れしましょう

困ったときには

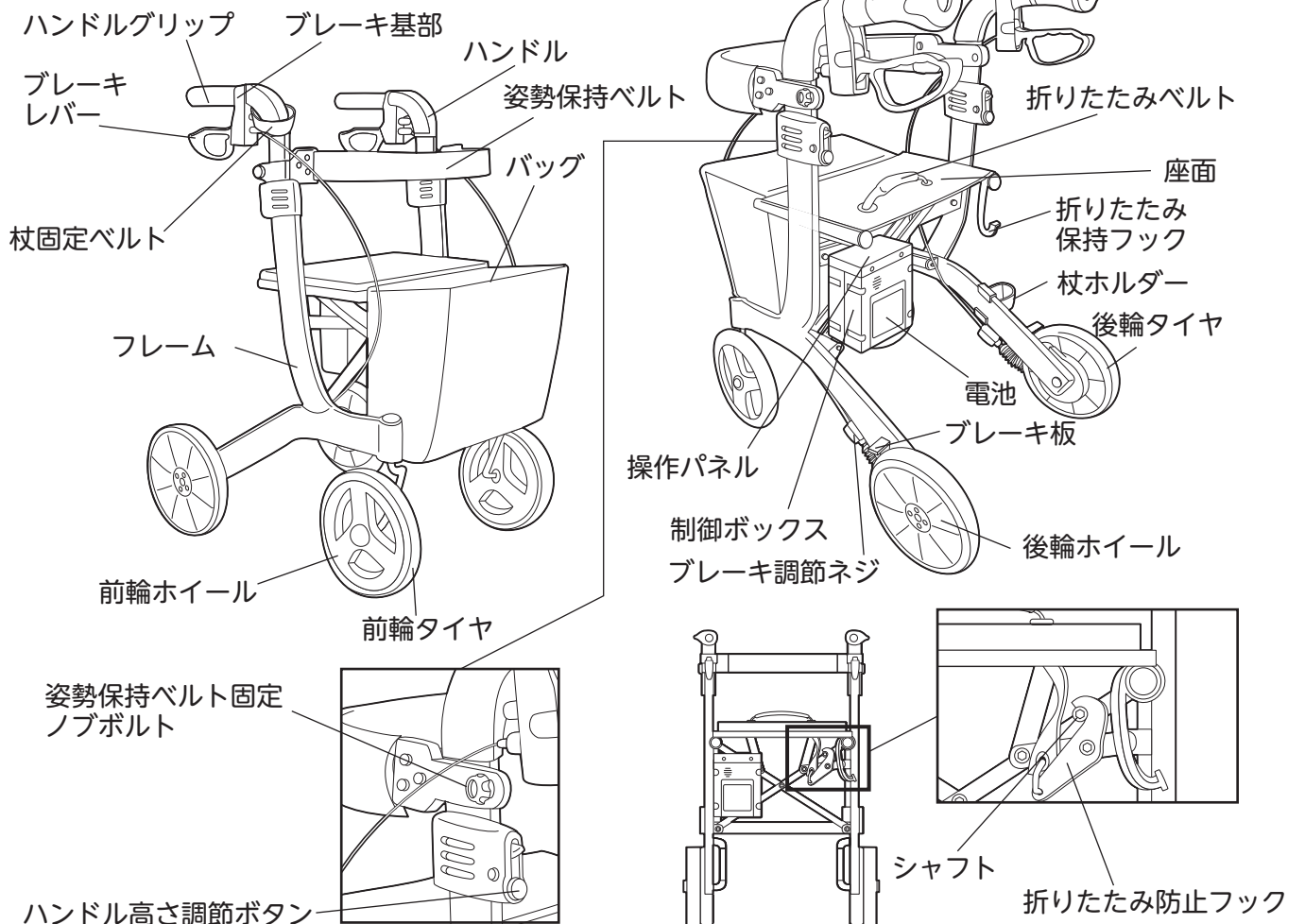
☝ 確認しましょう

梱包品の確認

梱包品が揃っているか、下表を見ながら確認してください。

<p>本体</p> 	<p>付属品</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>杖固定ベルト</p>  <p>面ファスナーのループ面 (ざらざらしている方)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>杖ホルダー</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>電池</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>専用充電器</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>専用 AC アダプター</p>  </div> </div>	
---	---	--

各部の名称



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

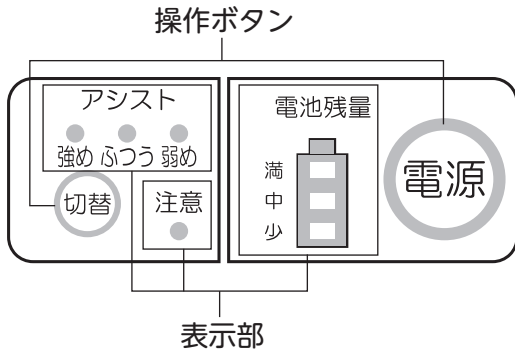
使いましょう

お手入れしましょう

? 困ったときには

操作パネルについて

操作パネルでは、アシスト機能をご使用いただくときに必要な操作や確認を行います。



操作ボタン

電源	電動アシストの電源を「入/切」するときを押します。
切替	・アシスト力を切り替えるときに押します。 ・音声案内の音量を切り替えるときに押します。

表示部

アシスト	設定中のアシスト力が点灯します。(橙色)
注意	異常発生時に点灯します。(赤色)
電池残量	現在の電池残量を表示します。(緑色)

注意



●操作パネルの上に物を置かないこと

置いた物が倒れたりして、けがにつながるおそれがあります。

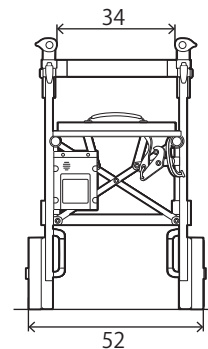
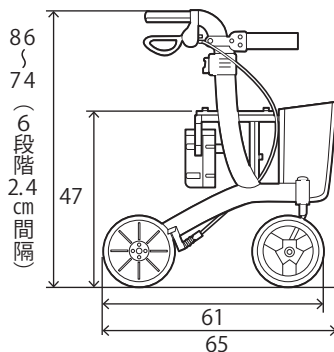
●操作パネルは指で操作すること

工具などの金属や鉛筆、ボールペンなどの固いもので強く押しったり、叩いたり、引っかいたりしないでください。傷つくことがあり、故障や破損の原因になります。

商品の寸法図と仕様

商品寸法図

単位：cm



確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

確認しましょう

仕様

■本体

品名		歩行車リトルターン 電動アシスト付	
構成部材	部品名	材質	
	座面、バッグ	ポリエステル	
	フレーム	アルミニウム (液体塗装)	
	制御ボックス表面・電池表面・専用充電器表面・専用 AC アダプター表面	ABS 樹脂	
	ハンドルグリップ・後輪タイヤ	エラストマー	
	ハンドル・ホイール・ブレーキレバー・ブレーキ調節ネジ	ポリプロピレン	
	前輪タイヤ	EVA樹脂	
	ブレーキ板	スチール (合成ゴム被覆)	
	姿勢保持ベルト	ポリエチレン (発泡材被覆)	
	折りたたみベルト・杖固定ベルト	ナイロン (折りたたみベルトは合成ゴム被覆)	
折りたたみ保持フック・杖ホルダー	ポリアミド		
商品サイズ	幅 52cm (展開時) ×奥行 65cm ×高さ 74 ~ 86cm (折りたたみ時 幅 30cm) ハンドル高さ 74・76.4・78.8・81.2・83.6・86cm (6段階) 座面高さ 47cm		
商品重量	約 9.1kg		
バッグ容量	約 12 L (載荷重: 6kg 未満)		

■電動アシスト関連

構成部品	操作パネル	電源入/切・切替	ボタン	
		電池残量	LED (緑・3段階)	
		アシスト	LED (橙)	
		注意	LED (赤)	
	スピーカー		標準装備 (音声案内専用)	
	電池	種類	種類	リチウムイオンバッテリー
			容量	14.6V-2.9Ah
			重量	約 260g
			充電方法	家庭用コンセント
			サイクル寿命	約 300 回
	専用充電器・専用 AC アダプター	形式	形式	専用充電器 (据え置き型)
			電源	AC100 ~ 240V (50Hz ~ 60Hz)
			充電時間	約 3 時間
	電池・専用充電器・専用 AC アダプター	環境条件	使用環境温度	0 ~ 40° C
			保管環境温度	-10 ~ 45° C
使用環境湿度			80% 以下	
保管環境湿度			20 ~ 80%	
アシスト機能	操作方法	ハンドルグリップを握って押し進む		
	駆動輪	後輪独立 2 輪駆動		
アシスト性能	使用可能勾配	縦断勾配 12% (傾斜 7 度) 横断勾配 5% (傾斜 3 度)		
	速度範囲	最大 4.0km/h		
	連続使用時間	約 4 時間		

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

安全上の注意

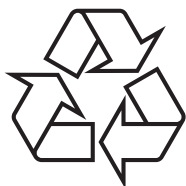
ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

リチウムイオンバッテリーについて



Li-ion 00

本製品に付属の電池はリチウムイオンバッテリーを使用しています。
リチウムイオンバッテリーは誤った取り扱い、廃棄により爆発することがあります。
リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な資源です。環境保全のため、不要になった電池はお買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談いただくか、リサイクル協力店などにお持ちください。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

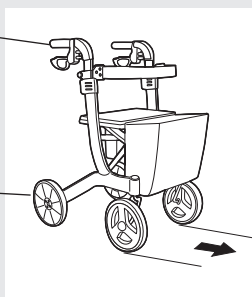
使用前に、必ず以下の作動を確認してください。転倒やけがの原因になります。

ブレーキ、駐車ロックが左右両輪とも正しく作動すること

車体が勝手に動きだす原因になります。

各車輪がしっかりと固定され、スムーズに回転すること

歩行中に車輪が外れる原因になります。



ガタつきなくまっすぐに走ること

バランスをくずす原因になります。

駐車ロックをかけて座面に座り、ロックの効き具合を確認すること

使用前に、必ず以下の項目や、ゆるみや劣化がないかを確認してください。転倒やけがの原因になります。

タイヤおよびブレーキに摩耗がないことを確認し、必要に応じて交換すること

ブレーキが効かずに転倒する原因になります。

図解は…P.34「タイヤ交換時期の目安」へ

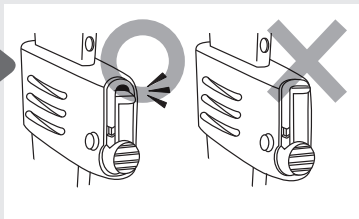
各部のネジやナットがゆるんでいないか確認すること

図解は…P.28「各部のネジやナットがゆるんでいないこと」へ

ハンドル高さ調節ボタンのロックがかかっていること

歩行中にハンドル高さが変わり、バランスをくずす原因になります。

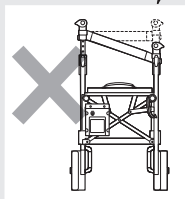
詳しくは…P.18へ



ハンドル高さは左右同じ高さにすること

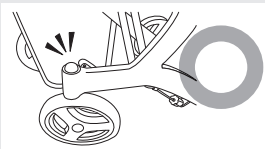
左右のハンドル高さが異なると車体が転倒し、けがの原因になります。

ハンドル高さが異なる



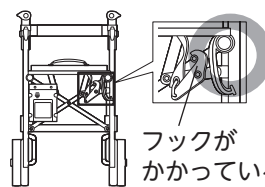
バッグが奥まで固定されていること

バッグが外れ、車体が乗り上げ、バランスをくずす原因になります。



本体が完全に開いていること

中途半端に開いていると、バランスをくずす原因になります。



ハンドル高さは規定の高さ（86cm）を超えずに設定すること

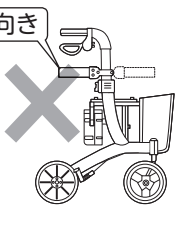
規定の高さ以上に設定すると、バランスをくずして転倒する原因になります。

姿勢保持ベルトが正しい向きで取り付けられていること

姿勢保持ベルトを外したり、逆向きに取り付けることはおやめください。

着座したときにそのまま後ろに転倒し、けがの原因になります。

逆向き



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用前に

♡使しましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

必ず行うこと

車体の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止すること

重大な事故につながるおそれがあります。

身体状況が不安定な方（ふらつきがある方や認知症の方）には、介助者が付き添うこと

以下の環境では十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

坂道、踏切の横断では十分に注意すること



交通の頻繁なところ、混雑しているところでは十分に注意すること



段差および溝のあるところでは十分に注意すること

段差の手前では必ず止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。

また、段差に斜めに進入すると、ハンドルをとられたり、段差に乗り上がらずにつんのめったりして、段差につまづき転倒の原因になるのでおやめください。



段差乗り越えのため、車体前部を持ち上げ気味にするときは後輪の浮き上がりに注意してください。後輪が空転し、衣類などの巻き込みや、けがの原因になります。

夜間など、見通しの悪い環境では十分に注意すること



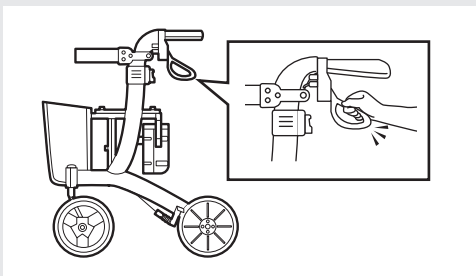
滑りやすい床での使用では十分に注意すること

- ・ワックスをかけた床
- ・大理石の床など



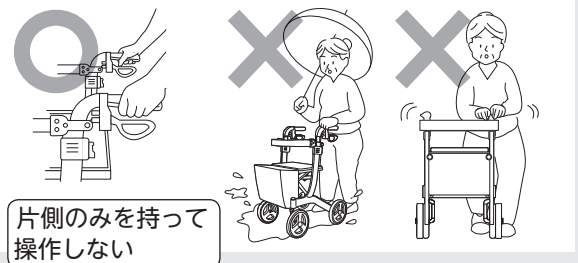
以下の点に、十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

操作パネルを操作するときは必ずブレーキレバーを下げ、駐車ロックをかけること



車体が不意に動きださないよう、左右両輪が止まっていることを確認してください。

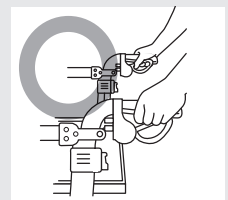
ハンドルグリップは両手で操作すること



片側のみを持って操作しない

ブレーキは左右同時にかけること

片側のみでブレーキをかけると、車体が転倒し、けがの原因になります。



確認しましょう

安全上の「注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意



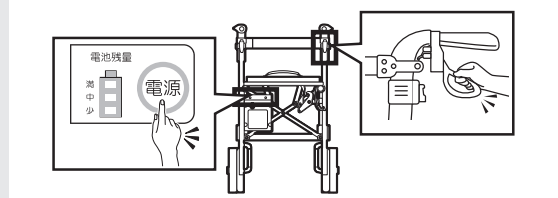
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

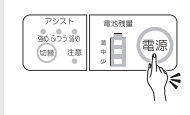
！ 必ず行うこと ！

以下のときは操作パネルの「電源」を押して、電動アシストを切り、駐車ロックをかけること

- ・ 車体から離れるとき
- ・ 座面に座るとき
- ・ 座面から立ち上がる時
- ・ 車体を折りたたむときや展開するとき
- ・ ハンドルの高さを調節するとき



電池がなくなるとアシスト機能が作動しないため、電池残量に注意して使用すること



意図しない動作により、転倒やけがの原因になります。

アシスト力が身体状況に合っているか、試運転等により必ず確認してから、使用すること

意図しない動作により、バランスをくずして転倒やけがをするおそれがあります。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

以下の使いかたをすると、転倒やけがの原因になります。

姿勢保持ベルトに手や肘をつけて体を支えないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。また、過度な力が繰り返し加わると、姿勢保持ベルトが破損し、着座時の転倒の原因になります。



姿勢保持ベルト

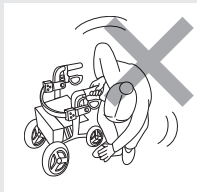
姿勢保持ベルトを持って製品を持ち上げないこと

過度な力が繰り返し加わると姿勢保持ベルトが破損し、着座時の転倒の原因になります。



立ち上がり、立ち座り時の手すり代わりにしないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



姿勢保持ベルトに過度に体を預けて寄りかからないこと

姿勢保持ベルトがたわみ、後方へ転倒する原因になります。



ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないこと

車体が前に移動し、転倒やけがの原因になります。



ハンドル

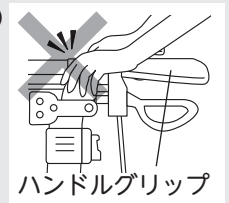
座面に浅く座らないこと
また、座面以外のところには座らないこと

車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



ハンドルグリップ以外の場所を持って歩行しないこと

車体が転倒し、けがの原因になります。



ハンドルグリップ

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



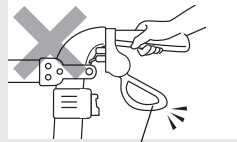
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

駐車ロックをかけた状態で歩行しないこと

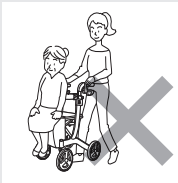
転倒し、けがの原因になります。



ブレーキレバー

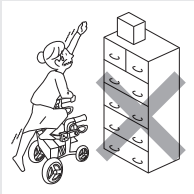
座面に人を乗せたまま移動しないこと

車体が転倒し、けがの原因になります。



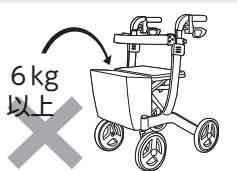
踏み台として利用しないこと

車体が転倒し、けがの原因になります。



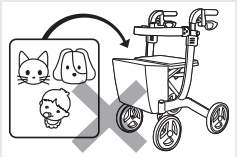
付属のバッグには6kg以上の荷物を入れないこと

転倒や故障の原因になります。



付属のバッグに乳幼児やペットを入れないこと

思わぬ事故の原因になります。



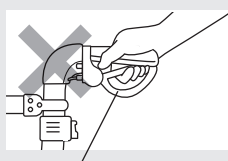
体重が100kgを超える方は使用しないこと

車体が破損するなどし、けがの原因になります。



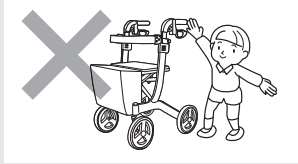
ブレーキレバーを握った状態で平地を歩行しないこと

転倒し、けがの原因になります。



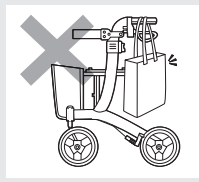
ブレーキレバー

小さなお子様には使用させないこと



バッグの中以外に荷物を乗せたり、吊るしたりしないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



改造はしないこと また、修理技術者以外の人は、 分解したり修理しないこと

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。



分解禁止

制御ボックスを開けないこと

製品の保証期間中でも保証対象外になります。



分解禁止

電動アシストの電源が入った状態で後輪を持ち上げないこと

後輪のタイヤが空転し、衣類等の巻き込みや、けがの原因になります。



使用中にタイヤを踏まないこと また、駆動輪やモーターを踏んで前輪を持ち上げないこと

転倒や故障の原因になります。



確認しましょう

安全上の「注意」

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

姿勢保持ベルトを支えにして立ち上がらないこと

過度な力が繰り返し加わると、姿勢保持ベルトが破損し、着座時の転倒の原因になります。



厚手の手袋を使用しないこと

手袋を介してハンドルグリップを握ると、モーターブレーキが解除されず電動アシストが正しく作動しない場合があります。

手袋を使用される際はご使用前にハンドルグリップを握ることでモーターブレーキが解除されることを確認してください。

以下の環境では使用しないでください。転倒やけがの原因になります。

風の強い時は使用しないこと

車体が勝手に動き出す原因になります。



砂、泥のある場所、特にぬかるみや水たまりでは使用しないこと



傾斜地では腰かけないこと

車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



階段やエスカレーターでは使用しないこと

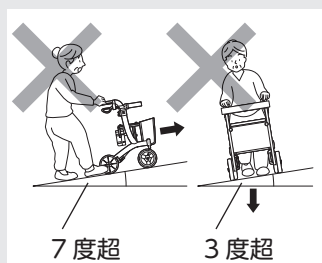


雨、雪の日など路面が滑りやすい時は使用しないこと



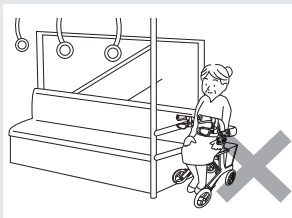
7度を超える傾斜面や、3度を超える横傾斜面では使用しないこと

電動アシストが傾斜に対応しきれなくなり、転倒の原因になります。

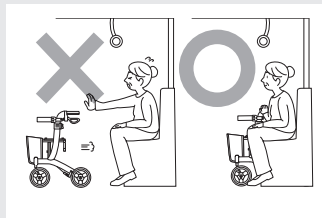


乗り物に乗るときは以下の行為を行わないでください。車体が転倒しけがの原因になります。

バス、電車などの乗り物内では腰かけないこと



バス、電車などの乗り物内で折りたたみした場合には、歩行車から手を離さないこと



電池、専用充電器、専用 AC アダプターを使用するときは、以下の行為を行わないでください。けがや故障の原因になります。

電池は分解したり、改造したりしないこと

故障、破裂の原因になります。



分解禁止

電池や専用充電器・専用 AC アダプターに強い衝撃をあたえないこと また、電池の端子部分や専用 AC アダプターのプラグは変形させないこと

故障、破裂の原因になります。

確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

電池の端子部分に導電物（金属片など）を触れさせないこと

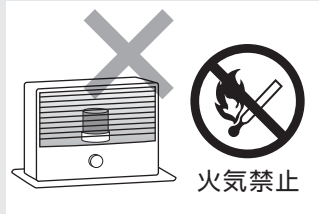
発煙、発火の原因になります。

電池や専用充電器・専用ACアダプターが破損・変形・水没した場合は使用しないこと

発煙、発火のおそれがあり大変危険です。

電池は火気に近づけないこと

故障、破裂の原因になります。

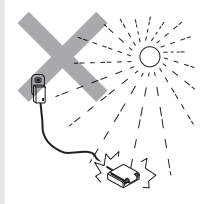


火気禁止

専用充電器は屋内の適正な温度（0℃～40℃）の場所で使用すること

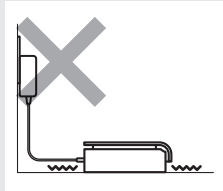
また、日の当たる場所や車の中など高温になるおそれのある場所では使用しないこと

故障、破裂の原因になります。



湿気やほこり、振動の多い場所や、電子レンジなどの強い電磁波を発生するものの近くでは充電しないこと

思わぬ発熱、発火、機器の誤作動をまねく原因になります。



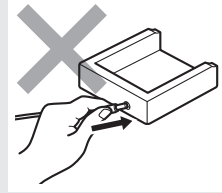
専用ACアダプター以外は使用しないこと

感電、ショート、火災の原因になります。



専用ACアダプターを専用充電器に接続するときや電池の挿入時は、斜めに差し込んだり、差し込んだ状態のまま引っ張ったりしないこと

故障、破裂の原因になります。



ぬれた手で電池の脱着や充電をしないこと

感電のおそれがあります。



電池をお子様の手の届く範囲に置かないこと

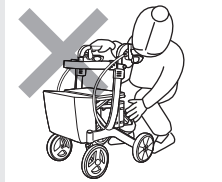
破損やけがの原因になります。



歩行中に電池を取り外さないこと

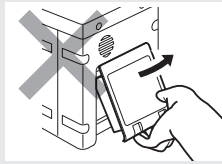
また、脱着は雨などのあたらぬ安全な場所に駐車して行うこと

重大な事故や故障の原因になります。



指の爪を使って電池を取り外さないこと

けがをするおそれがあります。



専用ACアダプターのコードを移動経路上に設置しないこと

コードに引っかかり、けがや転倒のおそれがあります。



確認しましょう

！安全上の「注意

✖ご使用の前に

使いましょ

お手入れしましょ

？困ったときには

！ 安全上のご注意



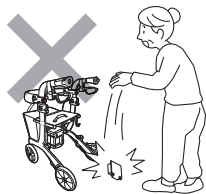
注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

！ 必ず行うこと ！

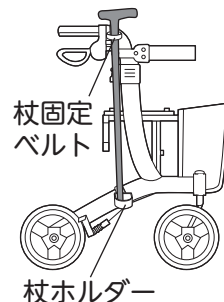
電池を脱着するときは、電池の落下に十分注意すること

破損や故障の原因になります。



車体に杖を固定するときは杖の先端は確実に杖ホルダーに入れること

車体や後輪に挟まると歩行中にブレーキがかかり、転倒するおそれがあります。

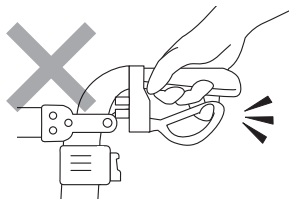


電池を充電する際、プラグ抜け防止機構のあるコンセントは、コンセント本体の取扱説明書に従って使用すること

⊘ 絶対にしないこと ⊘

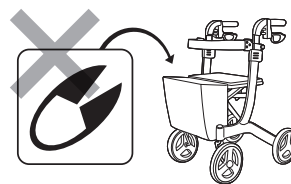
ブレーキレバーとハンドルグリップの間に指を入れたままブレーキをかけないこと

指を挟み、けがの原因になります。



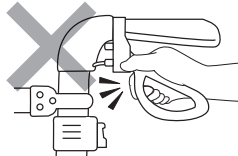
付属のバッグには鋭利なものを入れないこと

破損や故障の原因になります。



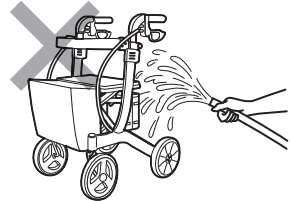
ブレーキレバーとブレーキ基部の間に指を入れたまま駐車ロックをかけないこと

指を挟み、けがの原因になります。



車体に向けて放水しないこと

破損や故障の原因になります。



操作パネルの上に物を置かないこと

置いた物が倒れたりして、けがにつながるおそれがあります。

操作パネルは指で操作すること

工具などの金属や鉛筆、ボールペンなどの固いもので強く押ししたり、叩いたり、引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり、故障や破損の原因になります。

畳の上で使用しないこと

タイヤとの摩擦により畳が削れることがあります。

確認しましょう

！安全上のご注意

⊘ご使用の前に

♡使いまししょう

💧お手入れしまししょう

？困ったときには



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

●お手入れ・保管時の注意 以下の行為を行うと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと
劣化および破損の原因になります。

- ・シンナー ・クレゾール ・熱湯
- ・塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
- ・磨き粉 ・塩素系洗剤
- ・酸、アルカリ性洗剤 ・タワシ
- ・研磨剤入りのスポンジ
- ・その他製品を傷つけるもの



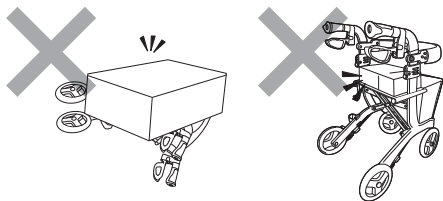
消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いないこと

製品が破損する原因になります。
製品の消毒はアルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。その際、特に ABS 樹脂部分は消毒後、水拭きと乾拭きをしてください。
消毒液が残ると跡残りの原因になります。

詳しくは…P.33「消毒方法」へ

荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと

故障や変形の原因になります。



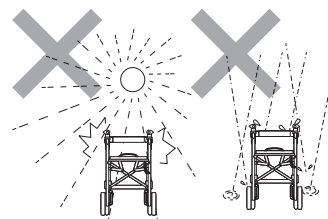
電池を充電しないまま長期間保管しないこと

必ず 1 か月に 1 回は充電してください。
電池は保管中も自己放電によって電気が消費しています。そのまま放置すると電池容量が回復しない場合があります。電池の交換が必要となります。

屋外に放置したり、直射日光に長時間当てたりしないこと

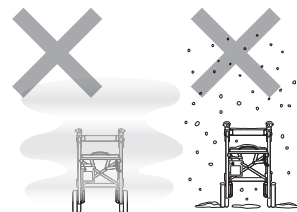
金属部がさびて故障の原因になったり、紫外線による色落ちの原因になります。

直射日光を避け、雨などで濡れない乾いたところ、風通しの良いところで保管してください。



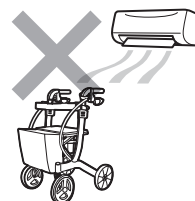
極端な高湿、低温の場所に放置しないこと

故障の原因になります。



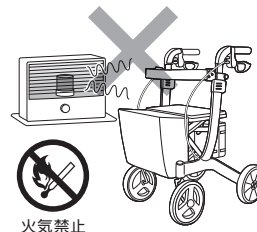
エアコンの吹き出し口の近くには置かないこと

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食して故障の原因になります。



電池や本体は日の当たる場所、車の中、電子レンジの近く、ストーブの前など、暑くなる場所で保管しないこと

故障、破裂の原因になります。



火気禁止

電池の充電量が不十分な状態や制御ボックスに取り付けたまま長期保管しないこと

電池は自己放電によって電池残量が減っていきます。そのまま放置すると電池容量が回復しない場合があります。電池の交換が必要となります。

確認しましょう

安全上の「注意」

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

✖ ご使用の前に

ご使用の前に、下記の流れにそって杖ホルダーの取り付けや高さ調節、電池の充電を行ってください。

高さ調節は、使う方の体格や立ち座り動作がしやすいようお買い上げの販売店やケアマネジャー等の専門家に相談することをおすすめします。

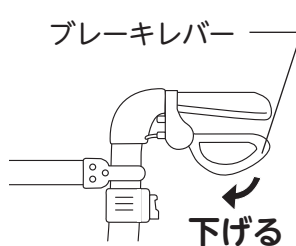


組み立て、および調節は確実に行ってください。

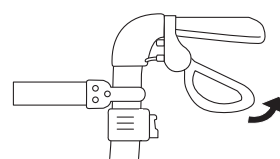
本体を開きましょう

1. 駐車ロックをかける

左右両方のブレーキレバーを自動で戻らなくなるまで、手で押し下げます。

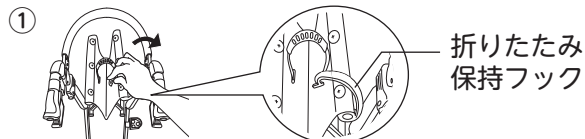


駐車ロックがかかった状態

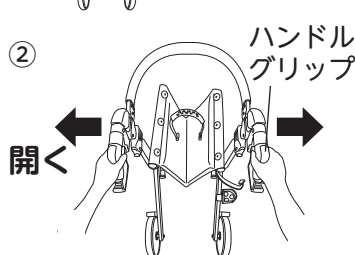


2. ハンドルグリップを持って両側に軽く開き、座面を上から押す

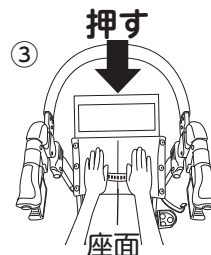
① 折りたたみ保持フックを外します。



② 歩行車の後方に立ち、左右のハンドルグリップを持って、両側に軽く開きます。



③ 座面の両端を、右図のように上から手で押し下げます。



注意



シートパイプの横や下に手や指を置かないこと

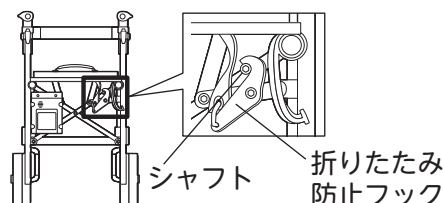
手が挟まり、けがをするおそれがあります。

シートパイプ



3. 本体が開ききったことを確認する

図のように、折りたたみ防止フックがシャフトにかかっているか確認してください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

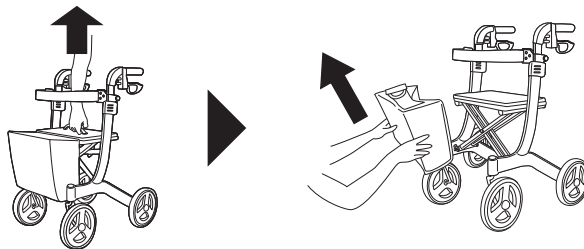
困ったときには

バッグの取り付け、取り外しかた

バッグは取り外して使用できます。出荷時は取り付けられた状態です。

バッグの取り外しかた

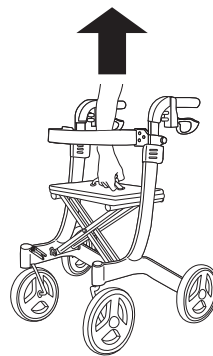
本体を軽く閉じ、バッグを斜め上にスライドさせて取り外してください。



バッグの取り付けかた

1. 本体を軽く閉じる

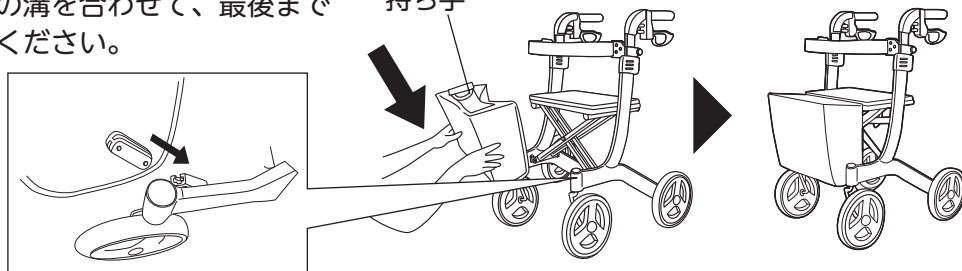
折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を軽く閉じます。



2. バッグ側面の金属製のスライドを本体前部のガイドに差し込み、スライドする

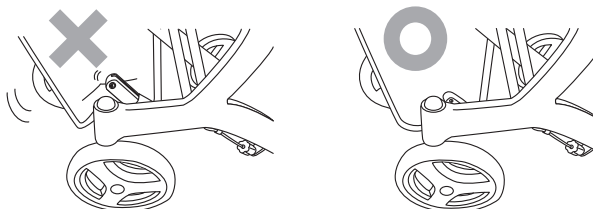
図のように、バッグのスライドの溝と、本体のガイドの溝を合わせて、最後までスライドしてください。

ファスナーの
持ち手



3. バッグが奥までスライドされているか、確認する

最後までスライドされているか、確認してください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

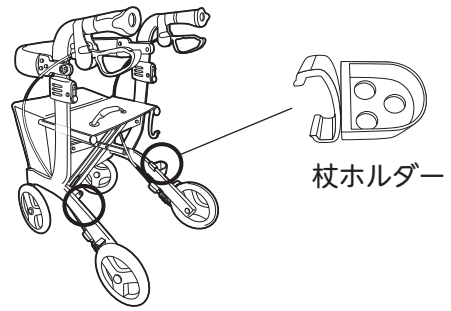
お手入れしましょう

困ったときには

✖ ご使用の前に

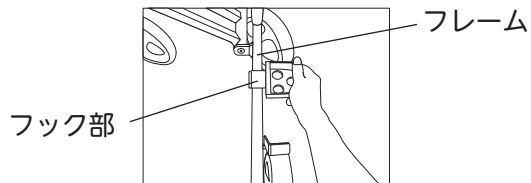
杖ホルダーを固定しましょう

杖ホルダーは左右に取り付けられます。
出荷時は右側に取り付ける設定の状態です。
左側に取り付ける場合は、以下の「左側に杖ホルダーを取り付ける場合」を参照してください。



杖ホルダーの取り付けかた

フック部をフレームにかけて固定してください。



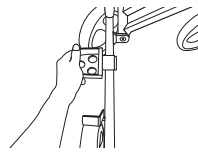
左側に杖ホルダーを取り付ける場合

左側に杖ホルダーを取り付ける場合は、以下の手順でホルダー部の角度を変えてください。

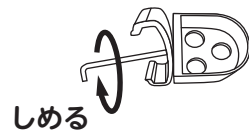
①杖ホルダー固定ネジを3mmの六角レンチでゆるめます。



②ホルダー部の角度を決めます。

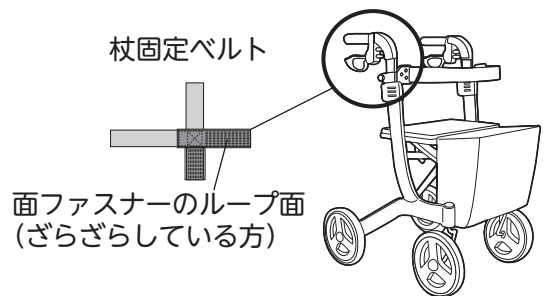


③①でゆるめた杖ホルダー固定ネジをしっかりとしめます。

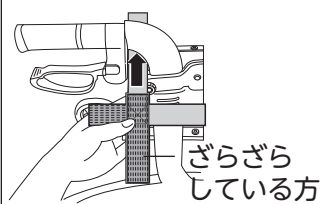


杖固定ベルトを固定しましょう

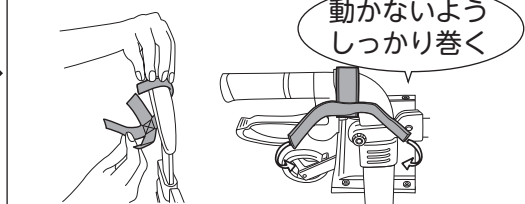
杖固定ベルトには面ファスナーがついています。
図のように、本体のハンドル部分に固定してください。



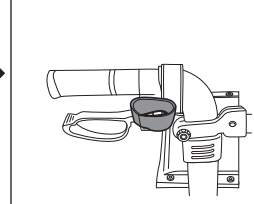
①図の位置 (ハンドル) に差し込む



②差し込んだバンドをハンドルに巻き付けて固定する



③杖を入れる余裕をもたせて巻く



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使しましょう

お手入れしましょう

困ったときには

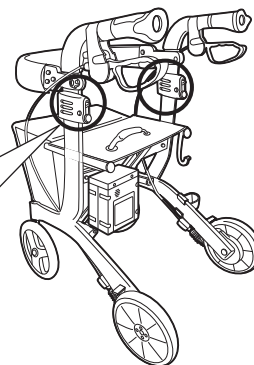
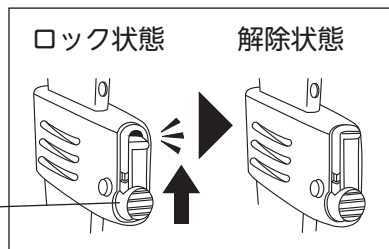
ハンドル高さを調節しましょう

ハンドル高さは（74～86cm 6段階）の範囲で調節できます。
出荷時は一番低い高さ（74cm）に設定されています。

1. ハンドル高さ調節ボタンのロックを解除する

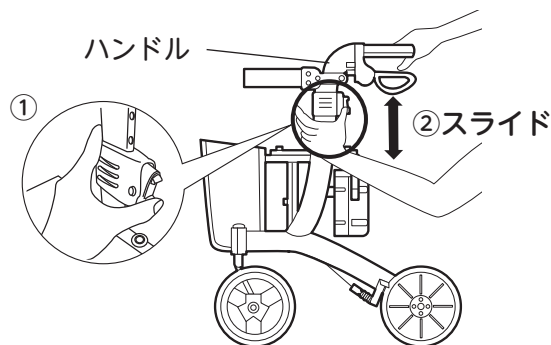
ハンドル高さ調節ボタンを押し上げて、ロックを解除します。

ハンドル高さ調節ボタン



2. ハンドルの高さを合わせる

- ①ハンドル高さ調節ボタンの下部を押します。
- ②ハンドルを上下にスライドさせ、高さを合わせます。
- ③もう片方のハンドルも同じ高さに合わせます。

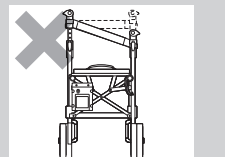


警告



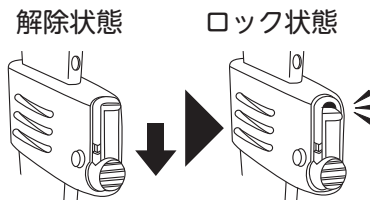
ハンドル高さは左右同じ高さにすること

ハンドルの高さが左右異なると、
バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



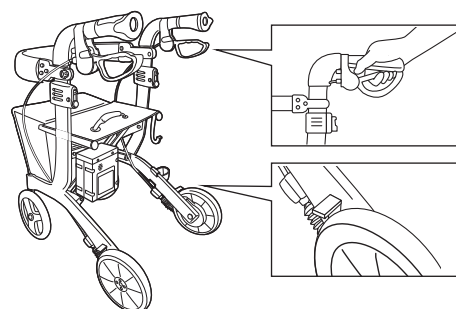
3. ハンドル高さ調節ボタンをロックする

左右のハンドル高さ調節ボタンを押し下げて、
ロックします。



4. ブレーキの効きを確認する

ハンドルの高さ調節を行った後は、ブレーキの効き
が弱い場合はブレーキの調節を行ってください。



詳しくは…P.32「ブレーキの調節方法」へ

確認しましょう

安全上の「ご注意」

「ご使用の前に」

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

✖ ご使用の前に

姿勢保持ベルトの高さ調節をしましょう

姿勢保持ベルトの高さをお好みの高さに調節できます。
出荷時は一番高い高さに設定されています。
姿勢保持ベルトを外すことはおやめください。

警告



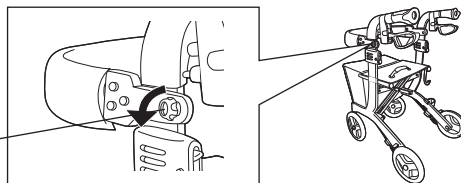
姿勢保持ベルトを外した状態で
使用しないこと

着座時に転倒し、けがの原因になります。

1. 姿勢保持ベルト固定ノブボルトをゆるめる(左右)

図のように、左右の姿勢保持ベルト固定ノブボルトをゆるめてください。

姿勢保持ベルト固定ノブボルト

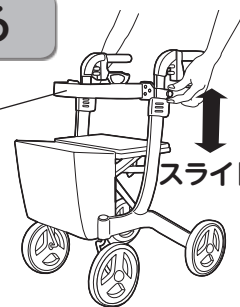


2. 姿勢保持ベルトをスライドさせ、高さを調節する

姿勢保持ベルトを図のように持ってスライドさせ、お好みの高さに調節してください。
※左右、同じ位置で固定してください。

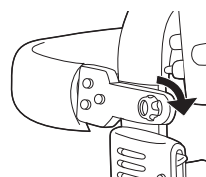
姿勢保持ベルト

スライド



3. 姿勢保持ベルト固定ノブボルトをしめる

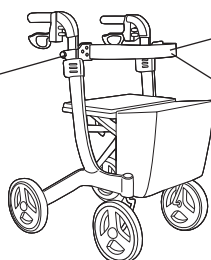
図のように、姿勢保持ベルト固定ノブボルトをしっかりしめてください。



4. 姿勢保持ベルトが正確に取り付いていることを確認する

右図を確認してください。

左右の姿勢保持ベルト固定ノブボルトが動かないところまでしまっている



姿勢保持ベルトの高さが水平になっている

逆向きに取り付いていない

警告



姿勢保持ベルト固定ノブボルトにゆるみがないこと

ゆるんでいると、着座時に不意に姿勢保持ベルトがはずれ、けがの原因になります。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

電池を充電しましょう

付属の専用充電器で電池を充電します。出荷時は電池残量が十分ではありません。
充電してからご使用ください。

警告



専用 AC アダプターのコードを移動経路上に設置しないこと

コードに引っかかり、けがや転倒のおそれがあります。

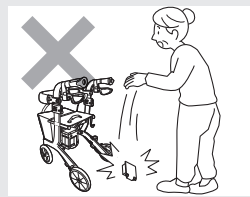


注意



プラグ抜け防止機構のあるコンセントは、コンセント本体の取扱説明書に従って使用すること

電池を脱着するときは、電池の落下に十分注意すること
破損や故障の原因になります。



電池の充電のしかた

- ①専用充電器と専用 AC アダプターを接続します。
- ②専用 AC アダプターをコンセントに差し込みます。
専用 AC アダプターのランプが緑色に点灯します。
- ③電池をスライドさせて専用充電器に差し込みます。
専用 AC アダプターのランプが赤色に点灯し、充電が開始されます。
終了するとランプが緑色になります。

満充電までの時間はおよそ3時間です。

※充電中、専用 AC アダプターのコードが温かくなることがありますが、異常ではありません。
そのまま使用してください。

※付属の電池は約300回まで繰り返し充電ができます。
電池の寿命は、使用頻度や使用環境（温湿度など）等の条件により異なります。

詳しくは…P.23「電池残量の確認」へ

確認しましょう

安全上のご注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

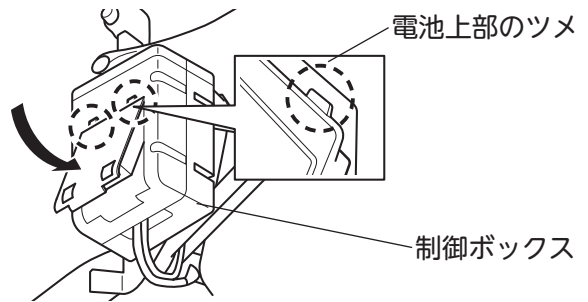
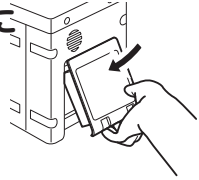
✖ ご使用の前に

電池の取り付けかた

制御ボックスに電池上部のツメを引っかけて電池の下部をはめこみます。

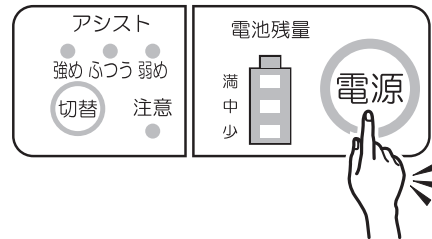


電池下部のくぼみに指をかけて取り付けましょう。

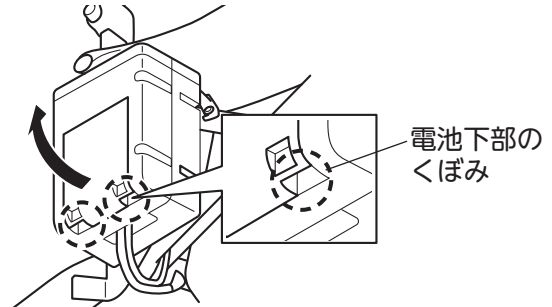


電池の取り外しかた

①操作パネルの「電源」を押して、電源をオフにします。



②電池下部のくぼみに指をかけて手前に引いて電池を取り外します。

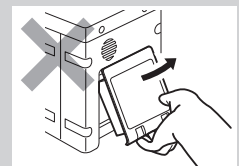


警告



指の爪を使って電池を取り外さないこと

けがをするおそれがあります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

♡ 使いましょう

操作方法

ブレーキのかけかた

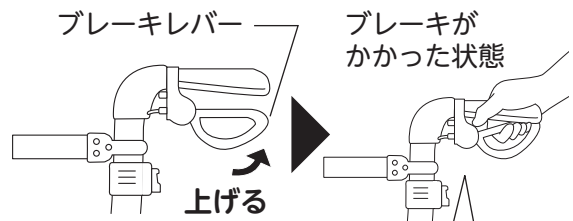
ブレーキレバーを引き上げるとブレーキがかかります。
ブレーキは左右同時にかけてください。

警告

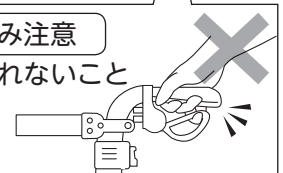


片側のみでブレーキをかけないこと

左右同時にブレーキをかけないと、車体が転倒し、けがの原因になります。



指挟み注意
指を入れないこと

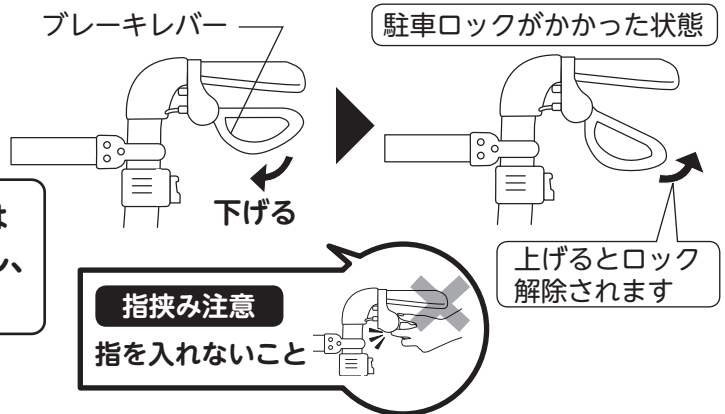


駐車ロックのかけかた

ブレーキレバーを自動で戻らなくなるまで、手で押し下げます。



座面に座るときや保管時は
電動アシストの電源をオフにし、
駐車ロックをかけましょう。



上げるとロック
解除されます

杖の固定のしかた

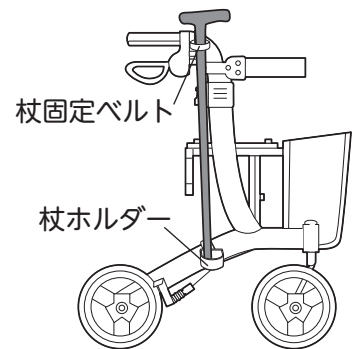
杖の先端を杖ホルダーに入れて、杖固定ベルトで固定してください。

注意



杖の先端は確実に杖ホルダーに入れること

車体や後輪に挟まると歩行中にブレーキがかかり、
転倒するおそれがあります。



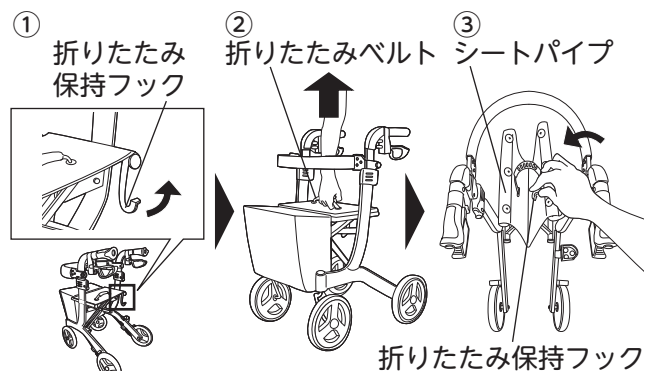
折りたたみかた

警告



操作パネルの「電源」を押して、
電動アシストを切ること
転倒やけがの原因になります。

- ① 折りたたみ保持フックを回転して、
座面の上側に移動させます。
- ② 折りたたみベルトを上方向に引っ張ります。
- ③ 折りたたみ保持フックを左側のシートパイプにかけます。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

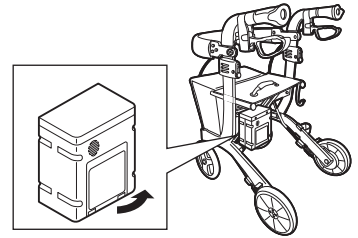
困ったときには

❤️ 使いましょう

置きかた

車のトランクや後部座席に入れるときは、制御ボックスから電池を外し、車体が動かないように固定して置いてください。再度使用するときは、電池を忘れないように取り付けてください。

詳しくは…P.21「電池の取り付けかた」へ



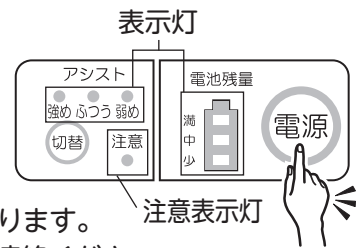
電動アシストの起動 / 終了のしかた

電動アシストは歩行者の移動を支援する機能です。必ず利用者が責任をもって周囲の状況を把握し、安全な利用を心がけてください。

また、路面状況、車体状態、天候状態、および利用者の操作状況によっては、電動アシストが正しく作動しない場合があります。

■ 起動のしかた

操作パネルの「電源」を押して、電源を入れてください。電池残量と最後に使用したときのアシスト力の表示灯が点灯します。電源を入れたあと、約2秒間は自己診断を行います。異常を検知した場合、注意表示灯が点灯する場合と電源が切れる場合があります。いずれも電源を入れ直しても改善されない場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。



■ 終了のしかた

操作パネルの「電源」を押して、電源をオフにしてください。電池残量とアシスト力の表示灯が消灯します。また、電池残量を確認し、少ない場合は充電してください。

「電源」を切った状態でも、アシスト機能がない歩行車として使用できます。(アシストが作動しないため、操作が重たくなります。)

100m以上歩いた場合は、歩行距離の目安を音声で通知します。

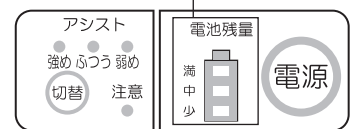
詳しくは…P.27「音声案内について」へ

■ 電池残量の確認

満充電でアシスト機能が約4時間、連続使用できます。
※寒い環境下では、一充電あたりの使用時間が短くなります。

電池残量		対応
	80% 以上	ご使用後の電池残量を確認してください。
	50 ~ 80% 未満	ご使用後の充電をおすすめします。
	20 ~ 50% 未満	ご使用前の充電をおすすめします。
	20% 未満	ご使用前に充電をしてください。

電池残量表示灯



詳しくは…P.20「電池を充電しましょう」へ

確認しましょう

安全上の注意

使用前の注意

使いましょう

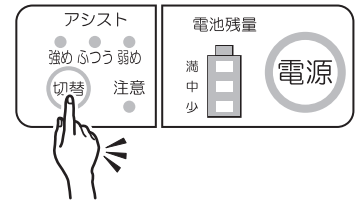
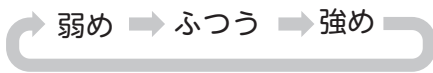
お手入れしましょう

困ったときには

アシスト力の切り替えかた

利用者の身体状況に合わせてアシスト力を切り替えることができます。

操作パネルの「電源」が入った状態で、「切替」を押してください。
下記の順に切り替わります。



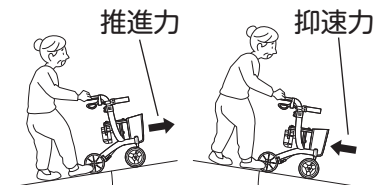
操作パネルの表示灯と音声で、選択したアシスト力を案内します。

出荷時は「弱め」に設定されています。

電源をオフにしたり、制御ボックスから電池を外しても、次回使用時には設定したアシスト力が記憶されています。

■アシスト力の目安

場面	アシスト機能	操作パネル表示 (アシスト力)		
		強め	ふつう	弱め
上り坂	推進力	強い	標準	弱い
下り坂	抑速力	強い	標準	弱い



警告



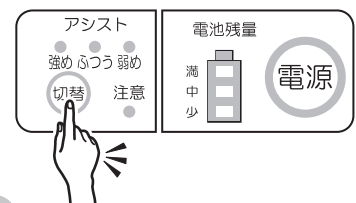
操作パネルを操作するときは、
ブレーキレバーを下げ、駐車ロックをかけること
転倒やけがの原因になります。

音声案内の音量の切り替えかた

■音量の切り替えや音声案内を中止する方法

操作パネルの「電源」が入った状態で、「切替」を2秒以上押し
続けてください。

下記の順に、音量に応じた音声案内が流れて切り替わります。



ご希望の音量位置で「切替」から手を離すと、その音量に設定されます。

出荷時は「小」に設定されています。

電源をオフにしたり、制御ボックスから電池を外しても、次回使用時には設定した音量が記憶されています。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

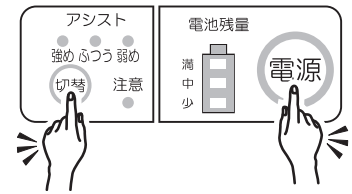
困ったときには

使いましょう

■音声案内「離れるときは駐車ロックをしてください」の切り替えかた

操作パネルの電源がオフの状態、「切替」を押しながら「電源」を押してください。

起動後、「切替」を数秒間保持してから、手を離してください。
音声案内が流れて、切り替わります。



設定	音声案内
あり	駐車ロックの音声案内が設定されました。
なし	駐車ロックの音声案内を中止しました。

出荷時は「あり」に設定されています。
電源をオフにしたり、制御ボックスから電池を外しても、
次回使用時には設定した音声案内が記憶されています。

警告



操作パネルを操作するときは、
ブレーキレバーを下げ、駐車ロックをかけること
転倒やけがの原因になります。

電動アシストの使いかた

制御ボックスに電池を取り付けてください。

詳しくは…P.21「電池の取り付けかた」へ

「電源」を入れ、両手でハンドルグリップを握って押して歩くだけで、アシストを開始します。操作に十分慣れるまでは、平らな地面で歩行する練習をしてください。

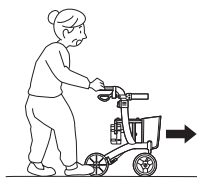
警告



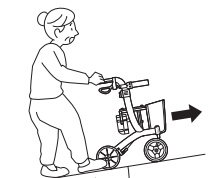
アシスト力が身体状況に合っているか、試運転等により必ず確認してから、使用すること

意図しない動作により、バランスを崩して転倒やけがをするおそれがあります。

- 平地では歩く速度に応じて電動アシストが作動し、軽い力で進むことができます。

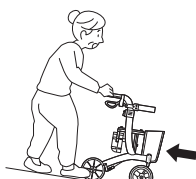


- 上り坂では、平地よりも強い力で電動アシストが作動し、少ない力で進むことができます。



7度以下

- 下り坂では、自動でモーターブレーキが作動し、ゆっくり進むことができます。



7度以下

- 傾いた道では、自動で左右のタイヤが速度を調整し、下り側にハンドルを取られることなく、進むことができます。



3度以下

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

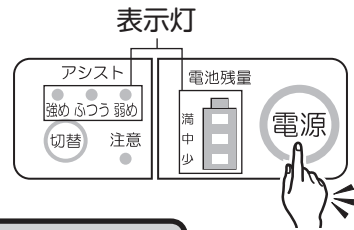
使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

1. 電動アシストを起動する

操作パネルの「電源」を押して電源を入れてください。
電池残量とアシスト力の表示灯が点灯します。



警告

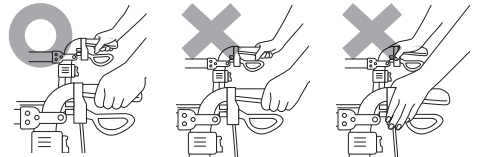


電池がなくなるとアシスト機能が作動しないため、
電池残量に注意して使用すること

意図しない動作により、転倒やけがの原因になります。

2. 両手でハンドलगリップをしっかりと握る

「電源」が入っているときは、安全のためにモーター
ブレーキがかかっています。
両手でハンドलगリップを握ると、解除されます。



警告



厚手の手袋を使用しないこと

手袋を介してハンドलगリップを握ると、モーターブレーキが解除されず電動アシストが正しく作動しない場合があります。手袋を使用される際はご使用前にハンドलगリップを握ることでモーターブレーキが解除されることを確認してください。

両手でハンドलगリップをしっかりと握ること

転倒やけがの原因になります。また、ハンドलगリップをしっかりと握らないと、モーターブレーキが解除されず、電動アシストが正しく作動しない場合があります。

3. 進行方向に向かってゆっくりと押しながら歩行する

- 歩く速度に応じて電動アシストが作動します。
- ハンドलगリップから両手を放すと電動アシストが作動なくなり、モーターブレーキのはたらきにより、車体が停止します。
(上り坂や下り坂では、安全のためにゆっくり下り方向に動きますが、故障ではありません)
- アシスト力は3段階で切り替えることができます。

詳しくは…P.24「アシスト力の切り替えかた」へ

4. 停止するときは押すのをやめ、ゆっくりと立ち止まる

オートパワーオフ機能

操作パネルの「電源」が入っているときに、平地で5分以上操作しない状態が続くと、節電のために自動で電源がオフになります。

再度使用するときは、「電源」を押して電源を入れてください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

音声案内について

電動アシストの電源をオフにするときなど、通常時には以下の音声案内が流れます。
※音声案内を中止に設定しているときは、音声案内は流れません。

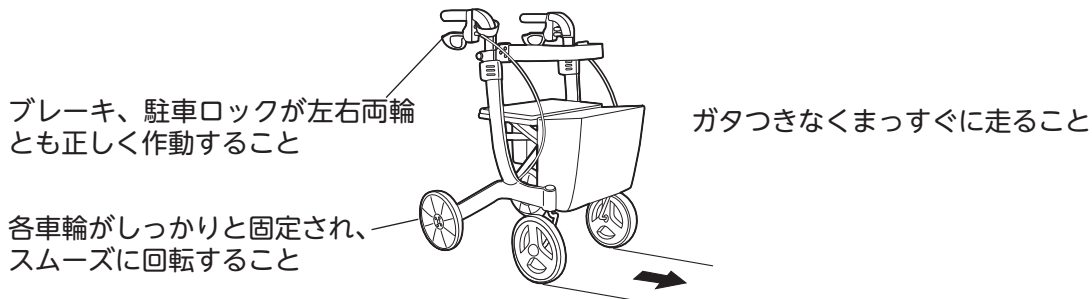
種 別	説 明	音 声 案 内
休憩提案	連続約 30 分歩行している場合に案内します。	長時間歩き続けています。休憩しませんか。
注意喚起	ハンドルグリップをしっかりと握った状態から手を放して、10 秒経過したときに案内します。	離れるときは、駐車ロックをしてください。 ※音声案内の有無を変更することができます。 ← 音声案内「離れるときは駐車ロックをしてください」の切り替えかたは・・・P.25 へ
	歩行中に急斜面にさしかかったときに案内します。	急斜面です。注意してください。
	電池残量が少なくなったときに案内します。	電池が少なくなっています。お早めに充電してください。
	アシスト機能の最大速度 (4.0km/h) を超えた歩行をしたときに案内します。	歩く速度が早くなりました。ゆっくり歩いてください。
	急加速時に案内します。	急加速を検知しました。注意してください。
	モーターの温度が 60 度以上になったときに案内します。	モーター温度が高くなっています。やけどに注意してください。
オートパワーオフ	5 分間無操作で、自動で電源がオフになるときに案内します。 (平地で使用時)	一定時間操作がされていません。電源をオフにします。
	5 分間無操作のときに案内します。 (傾斜地で使用時)	一定時間操作がされていません。 電源をオフし、駐車ロックをしてください。(安全のため電源は入ったまま)
	転倒を検知したときに案内します。	転倒したため、電源をオフにします。
	電池残量が空になったときに案内します。 (平地で使用時)	電池がなくなりました。電源をオフにします。
	電池残量が空になったときに案内します。 (傾斜地で使用時)	電池がなくなりました。電源をオフにします。駐車ロックをしてください。
終了時案内	歩行距離が 100m 未満で、電源をオフにするときに案内します。	電源をオフにします。
	100m 以上歩行し、電源をオフにするときに歩行距離を案内します。	〇.〇キロメートル歩きました。
アシスト力変更	アシスト力を切り替えるときに案内します。 ← 詳しくは…P.24 へ	<ul style="list-style-type: none"> ・アシスト力「強め」が選択されました。 ・アシスト力「ふつう」が選択されました。 ・アシスト力「弱め」が選択されました。
音量変更	音量を切り替えるときに案内します。 ← 詳しくは…P.24 へ	<ul style="list-style-type: none"> ・この音量で案内します。 ・音声案内を中止します。

■異常時の音声案内については、「音声による異常のお知らせ」をご確認ください。

詳しくは…P.35 へ

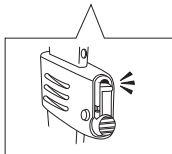
ご使用になる前に確認しましょう (点検)

使用前に、作動を確認する

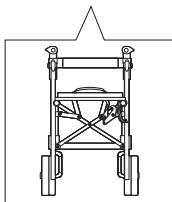


使用前に、必ず車体に異常がないかを確認する

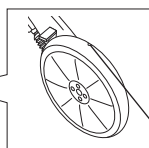
ハンドル高さ調節ボタンのロックがかかっていること



本体が完全に開いていること



タイヤおよびブレーキに摩耗がないこと



バッグが奥まで固定されていること

溝が残っている

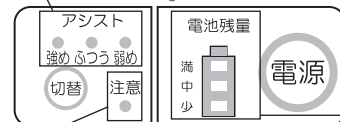
ハンドル・姿勢保持ベルトが左右同じ高さであること

姿勢保持ベルトが外れていたり逆向きでないこと

電池が確実に取り付けられていること

アシスト力の設定が身体状況に合っていること

詳しくは…P.24へ



操作パネルの注意表示灯が点灯していないこと

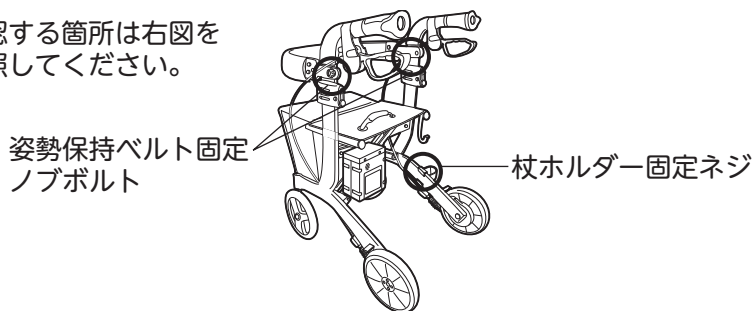
詳しくは…P.35へ

電池残量が充分であること

詳しくは…P.23へ

各部のネジやナットがゆるんでいないこと

※確認する箇所は右図を参照してください。



不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いまししょう

お手入れしまししょう

困ったときには

使いまししょう

最大使用者体重は 100kgです。

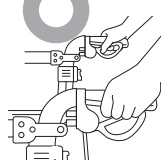
押して歩くとき

以下のことに注意してご使用ください。

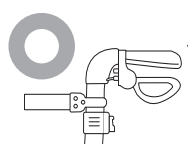
ハンドルグリップは両手で操作する



ブレーキは左右同時にかける



歩行時は駐車ロックが解除されている



歩いて使用する

ハンドルに寄りかかったり、全体重をかけるような過度の荷重をかけない



姿勢保持ベルトに手や肘をついて体を支えない



杖ホルダーに足をかけない



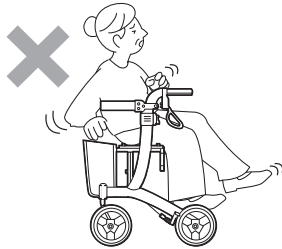
後ろ向きに押さない



腰かけるとき

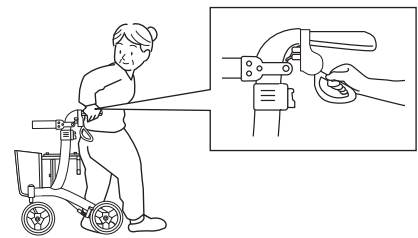
以下のことに注意してご使用ください。

姿勢保持ベルトに体を預けて寄りかからないこと



以下のときは、操作パネルの「電源」を押して、電動アシストを切り、駐車ロックをかける

- ・座面に座るとき
- ・座面から立ち上がる時
- ・車体から離れる時



傾斜地では腰かけない

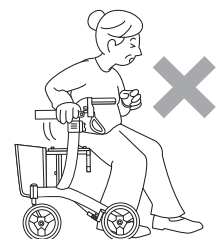
車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



平坦で安定した場所で座ってください。

座面には深く座る

浅く座ると車体が移動する可能性があります。



また、座面以外のところには座らないでください。

確認しまししょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いまししょう

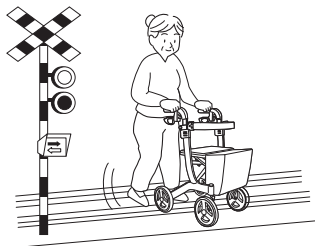
お手入れしまししょう

困ったときには

ご使用いただける環境について

以下の環境では、十分に注意して使用してください。

■急な坂道、踏切の横断



■段差および溝のあるところ

段差の手前では必ず止まり、十分に注意して慎重に段差を越えてください。

また、段差に斜めに進入すると、ハンドルをとられたり、段差に乗り上げらずにつんのめったりして、段差につまづき転倒の原因になるのでおやめください。



■交通の頻繁なところ、混雑しているところ



■夜間など、見通しの悪い環境



■滑りやすい床での使用

- ・ワックスをかけた床
- ・大理石の床など

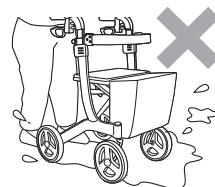


以下の環境では、使用しないでください。

■雨、雪の日など、路面が滑りやすい時は使用しないこと

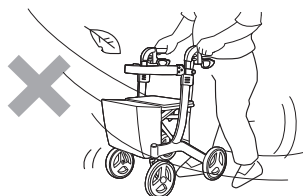


■砂、泥のある場所、特にぬかるみや水たまりでは使用しないこと



■風が強い時は使用しないこと

車体が勝手に動きだす原因になります。



■階段やエスカレーターでは使用しないこと

■畳の上で使用しないこと

タイヤとの摩擦により畳が削れることがあります。



🔍 確認しましょう

⚠️ 安全上のご注意

✖️ ご使用の前に

👤 使いましょ

💧 お手入れしましょ

❓ 困ったときには

🔴 お手入れしましょう

下記の手順に従ってこまめにお手入れしてください。

警告



分解禁止

改造はしないこと
また、修理技術者以外の方は、分解したり修理しないこと
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

制御ボックスを開けないこと
製品の保証期間中でも保証対象外になります。

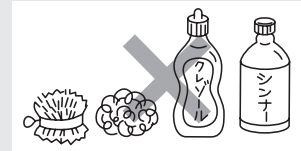
注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・塩素系洗剤 ・タワシ ・酸、アルカリ性洗剤
- ・研磨剤入りのスポンジ ・シンナー ・磨き粉
- ・クレゾール ・塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
- ・熱湯 ・その他製品を傷付けるもの

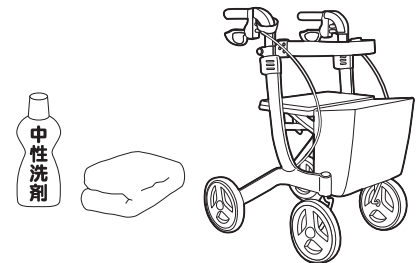
劣化および破損の原因になります。



お手入れのしかた

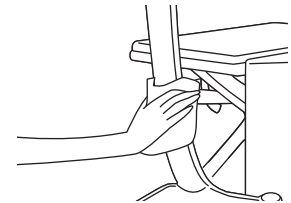
日常のお手入れ方法

※本体の汚れがひどい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れをふきとり、その後、水で濡らした布で洗剤をふきとり、よく乾かしてください。
電池や専用充電器の端子部分は乾いた布や綿棒などで清掃してください。



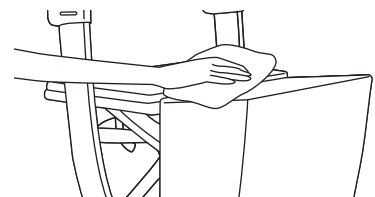
金属部分・樹脂部分

- 雨などで濡れた場合は、乾いた布でふきとってください。
- 泥やほこりがついた場合は、水で濡らした布を固くしぼってふきとり、その後、乾いた布でふいてください。



バッグ・座面

- 水で濡らした布を固くしぼってふきとり、その後、よく乾かしてください。



確認しましょう

安全上の注意

使用前に

使いましょ

お手入れしましょ

困ったときには

電池・専用充電器

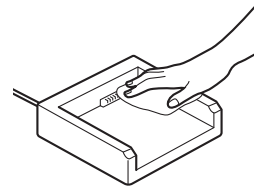
- 端子部分は乾いた布や綿棒などで清掃してください。

注意



端子部分の破損に十分注意して清掃し、汚れたままにしないこと

端子の接触が悪くなり、充電不十分の原因になります。



操作パネル

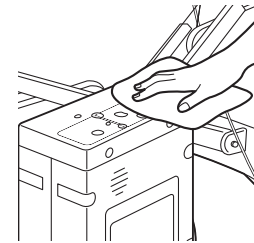
- 水滴などがついた場合は、すぐに脱脂綿や柔らかいきれいな布（めがねふきなど）で軽くふきとってください。

注意



水滴や汚れなどを付着したままにしないこと

操作パネルの変色、シミ、コーティングのはがれの原因になります。



保管時の注意

「安全上のご注意」をご確認ください。

詳しくは…P.14へ

ブレーキの調節方法

ブレーキが効きにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキ板の位置を調節してください。

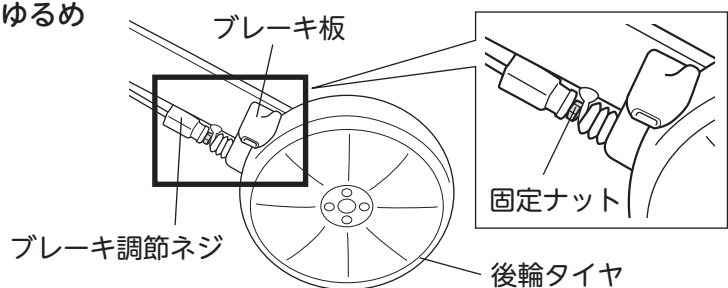
警告



操作パネルの「電源」を押して、電動アシストを切ること

転倒やけがの原因になります。

- ① 10mm のスパナを使って固定ナットをゆるめます。



確認しましょう

安全上のご注意

ご使用の前に

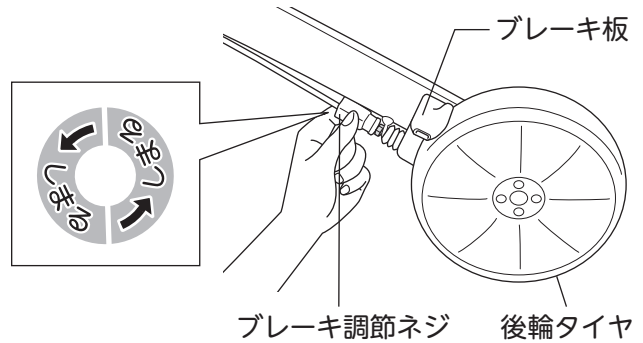
使いましょう

お手入れしましょう

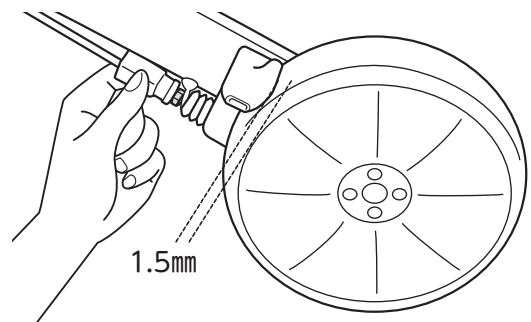
困ったときには

🔧 お手入れしましょう

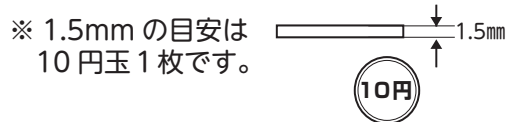
- ② ブレーキ調節ネジを後輪タイヤ側に押し込み、シールの表記に従って、ブレーキ調節ネジを回します。



- ③ ブレーキ板とタイヤのすき間が 1.5 mm になるように調節してください。すき間が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回して調節してください。



- ④ 固定ナットを元の位置まで締め付けます。



消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。

製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。特に ABS 樹脂部分（制御ボックス、電池、専用充電器、専用 AC アダプター）は消毒後、水拭きと乾拭きをしてください。消毒液が残ると跡残りの原因になります。

注意



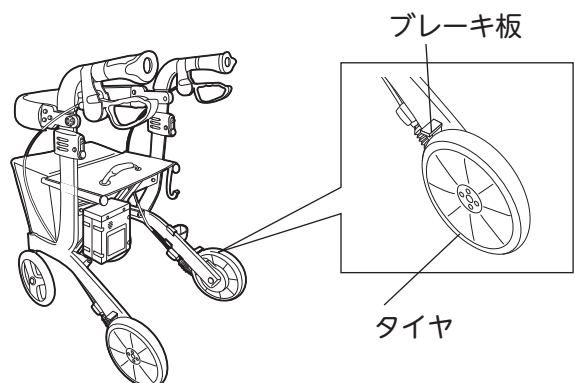
消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと

製品が破損する原因になります。

注油について

きしみ音が発生したり作動が鈍い時は、泥や汚れをふきとってから原因の箇所に少量のシリコン系潤滑油を注油してください。

タイヤ、ブレーキ板に油がつかないように注意し、もし付着した場合はよくふきとってください。



確認しましょう

安全上の注意

使用前に

使しましょう

お手入れしましょう

困ったときには

電池の交換時期の目安

使用環境や電池の状態によって充電時間は異なります。

3時間充電しても電池残量が「満」にならない場合や、すぐに「中」や「少」になる場合は、電池の寿命が考えられます。

電池の交換や購入については、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までお問い合わせください。

※電池（リチウムイオンバッテリー）は消耗品です。

電池の寿命は、使用頻度や使用環境（温湿度など）等の条件により異なります。

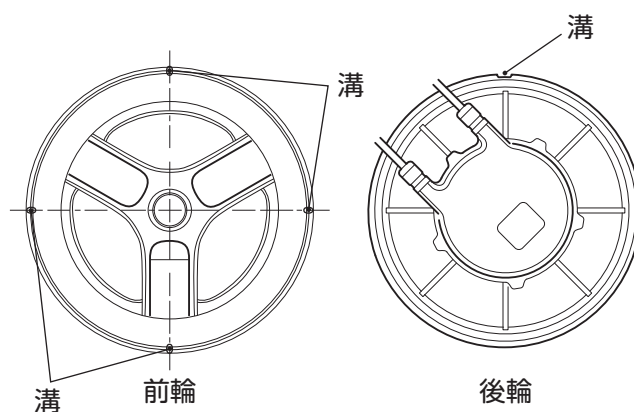
タイヤ交換時期の目安

タイヤ内側に前輪4ヶ所、後輪1ヶ所あるタイヤ交換サインの溝が1ヶ所でも削れて見えなくなったときが交換時期です。

※タイヤ交換サインは摩耗による交換時期の目安です。

長期の使用による素材の劣化（ひび割れなど）が見られる場合は、タイヤ交換サインの状態にかかわらず、ただちに交換してください。

※タイヤ交換はお買い求めの販売店にお問い合わせください。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使しましょう

お手入れしましょう

困ったときには

? 困ったときには

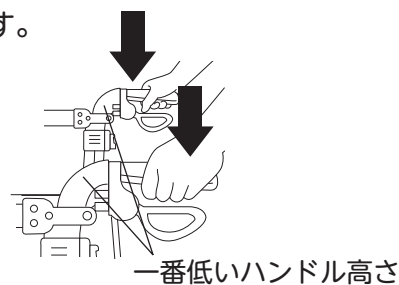
よくあるご質問

Q ハンドル高さ調節ボタンが押せなくなりました。



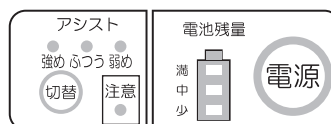
A. 故障ではありません。以下の手順で戻ります。

- ① ハンドルを一番低い高さにしてください。
- ② ハンドルを上から押さえ、下方方向に押し込んでください。



音声による異常のお知らせ

異常が発生した場合は、注意表示灯が点灯します。



表示灯

検知した異常の状態によって、音声案内の内容が異なります。安全な場所に移動し、表に従って対応してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。
※音声案内を中止に設定しているときは、音声案内は流れません。

音声案内	状態	対処方法
電池に不具合が発生しています。電池を外してください。	電池の異常を検知したとき	制御ボックスから電池を外し、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。
異常を検知しました。電源を入れなおしてください。	異常を検知したとき	安全な場所に駐車し、電源を入れなおしてください。
異常が解消されないため、販売店にご連絡ください。	電源のオン/オフを3回以上繰り返しても、異常が解消されないとき	お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

? 困ったときには

故障かな？と思ったら

修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

下表の対処方法を試しても改善しない場合はお買い上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	確認してください	対処方法	ページ
電源が入らない	・電池が外れていませんか？	電池を正しく装着してください。	P.21
	・電池残量が不足していませんか？	電池を充電してください。	P.20
発進しない	・操作パネルの表示灯が消えていませんか？	電源が入っていません。「電源」を押して電源を入れてください。	P.23
	・ハンドルグリップを片手で握っていませんか？	ハンドルグリップを両手で正しく握ってください。	P.26
	・溝や段差で動かない状態になっていませんか？	障害物を避けてください。	—
	・駐車ロックがかかっていませんか？	駐車ロックを解除してください。	P.22
音量が聞こえない	・音量が小さいか、「消音」に設定されていませんか？	適切な音量に調整してください。	P.24
速度が出ない (アシストされない)	・操作パネルの電池残量表示灯が点滅していませんか？	電池が消耗しています。電池を充電してください。	P.20
	・アシスト設定が弱くなっていませんか？	適切なアシスト設定に調整してください。	P.24
	・荷物を積み過ぎていませんか？	荷物は 6kg 未満にしてください。	—
	・急な上り坂ではスピードが遅くなります。異常ではありません。	—	—
速度が出ない (ブレーキがかかる)	・下り坂ではブレーキがかかります。異常ではありません。	—	—
	・急加速するとブレーキがかかります。異常ではありません。	—	—
	・ハンドルグリップを握っていないとブレーキがかかります。	ハンドルグリップを両手で正しく握ってください。	P.26
電源が切れる	・操作しないまま 5 分経過すると自動で電源をオフにします。故障ではありません。	もう一度「電源」を押して電源を入れてください。	P.23
	・本体が極端に傾いていると自動で電源をオフにします。故障ではありません。	本体を平地に置いてから、もう一度電源を入れてください。	—
	・電源を入れた時、自己診断の結果、不具合がある場合電源が切れます。	もう一度「電源」を押して電源を入れてください。	P.23
走行しなくなった	・操作パネルの電池残量表示灯が点滅していませんか？	電池が消耗しています。電池を充電してください。	P.20
	・溝や段差で動かない状態になっていませんか？	障害物を避けてください。	—
充電できない	・電池および専用充電器の端子にゴミやほこりが入っていませんか？	電池および専用充電器の端子部分を清掃してください。	P.32
	・専用 AC アダプターのランプが消えていませんか？	専用 AC アダプターをコンセントに正しく挿入してください。	P.20
	・専用 AC アダプターのランプが緑色のままではないですか？	電池を専用充電器に正しく差し込んでください。正しく充電されているとランプが赤色に点灯します。	P.20

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

? 困ったときには

こんなとき	確認してください	対処方法	ページ
満充電にならない	・電池が寿命になっていませんか？	お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。	P.34 P.37
注意表示灯が点灯している	—	安全な場所に駐車後、再度、「電源」をオン/オフしてください。それでも消えないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。	P.23 P.37
坂道で手を放すと下がってくる	・電源は入っていますか？	「電源」を押して電源を入れてください。	P.23
	・電源が入っているときも安全のためにゆっくり下り方向に動きます。故障ではありません。	駐車ロックをかけてください。	P.22

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
 商品の仕様等に関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ
 ※制御ボックスを開けないこと。製品の保証期間中でも保証対象外になります。

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル


お客様相談室 ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の
 月～金 9:00～17:00
 (12:00～13:00 は除く)

※本製品をほかの方にお譲りになる場合は、必ず本書もあわせてお渡してください。

メモ

 確認しましょう

 安全上の^ご注意

 ^ご使用の前に

 使いましょ

 お手入れしましょ

 困ったときには

※下記の保証内容は商品をご購入頂いたお客様向けのもので

レンタル（貸与）をご利用されたお客様はサービスを受けた福祉用具貸与事業者へお問い合わせください。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、制御ボックスを開けた場合、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) タイヤ、電池などの消耗品の劣化、損傷、及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 電気部品の機能を維持するために必要な補修用部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
7. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年	月	日
保証期間	お買い上げ日より1年		
お客様	ご住所 〒		
	ご芳名	TEL	
★販売店	住所 〒		
	店名	TEL	

★印欄に記入のない場合は有効とはなりません。必ず記入の有無をご確認ください。もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

この保証書はご使用できません

■保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

18.09 919134